

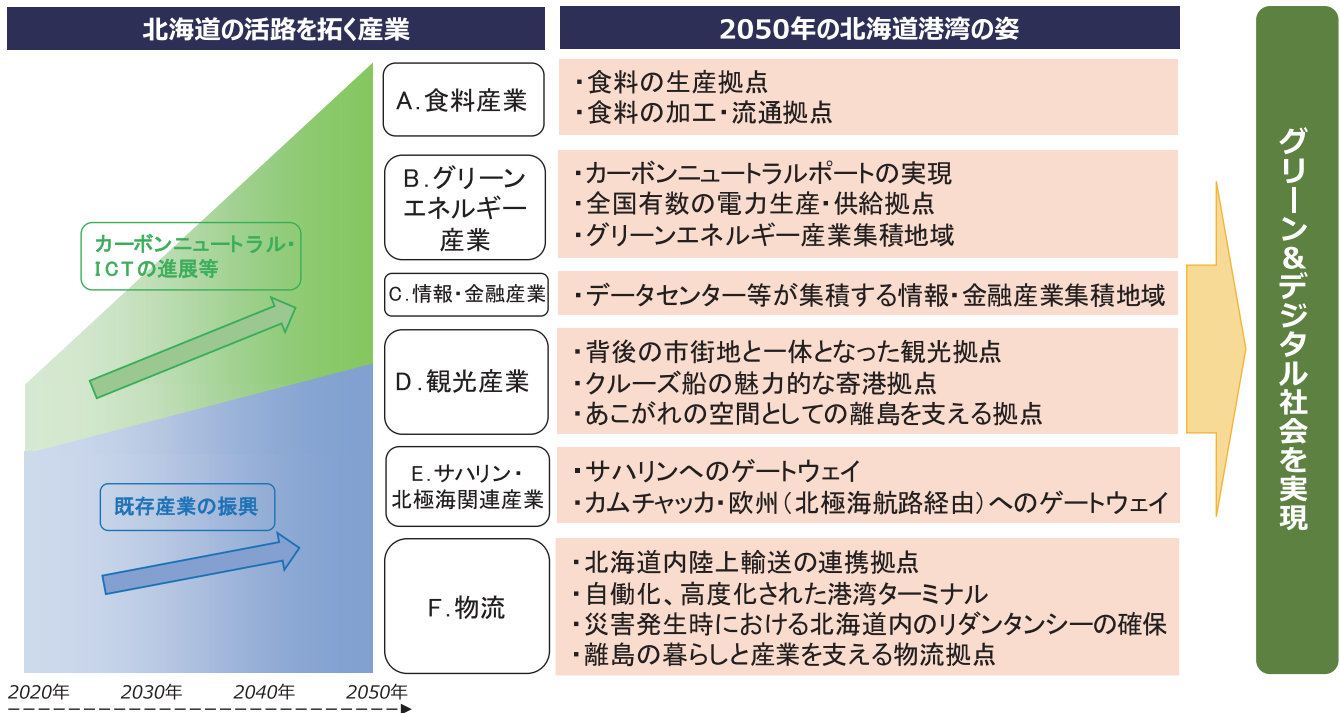
「北海道港湾 2050」を策定しました！

北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課

8月27日(金)、2050年の北海道の発展を支えるための役割等を整理した長期ビジョン「北海道港湾2050～グリーン&デジタル社会を創る北海道港湾～」を港湾計画課HPに公表しました。

北海道の港湾は、物流・人流・産業の拠点として、北海道の社会経済や道民の暮らしを支えるとともに、賑わい・交流や防災の観点からも重要な役割を担っています。その役割は時代とともに拡大・変遷してきており、今後もカーボンニュートラルやICTの進展など様々な社会情勢の変化に対応していく必要があります。

そこで、将来の北海道港湾に対する要請を踏まえた2050年のグリーン&デジタル社会を実現するため、北海道港湾がその集積の牽引を担えうる6つの産業（食料、グリーンエネルギー、情報・金融、観光、サハリン・北極海関連、物流）を取り上げ、2050年の北海道にこれらの産業が集積している姿、その産業を支える2050年の北海道港湾の姿、人口減少やデジタル社会の進展に応じた2050年の北海道内外の物流を支える港湾の姿を描いています。



「北海道港湾 2050 ～グリーン&デジタル社会を創る北海道港湾～」のイメージ

